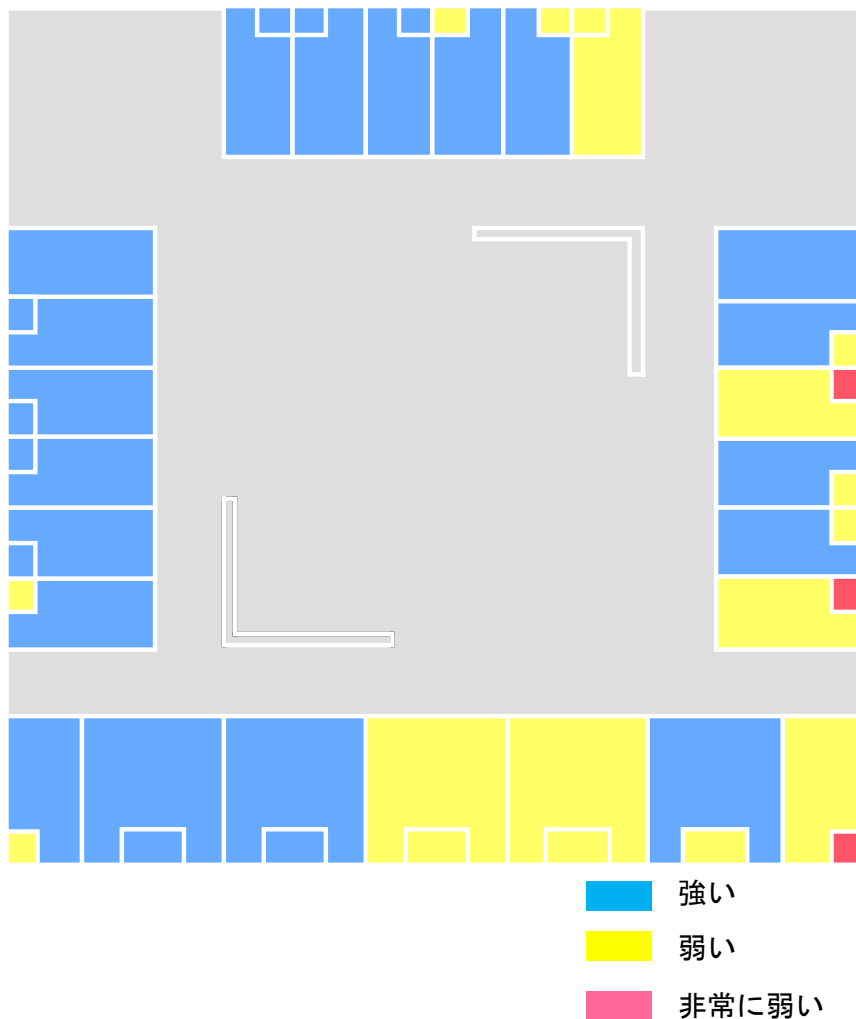


安心・安全な電波管理に向けて

大成建設株式会社

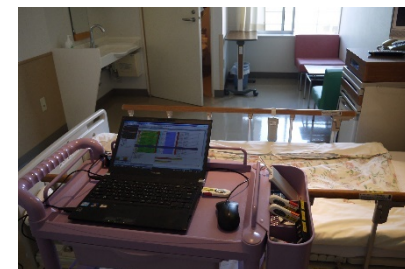
病院の医用テレメータの電波環境調査事例



電波調査の見える化画面



テレメータ端末による
受信強度測定



WiFi分析による
通信状況調査

病院での調査状況



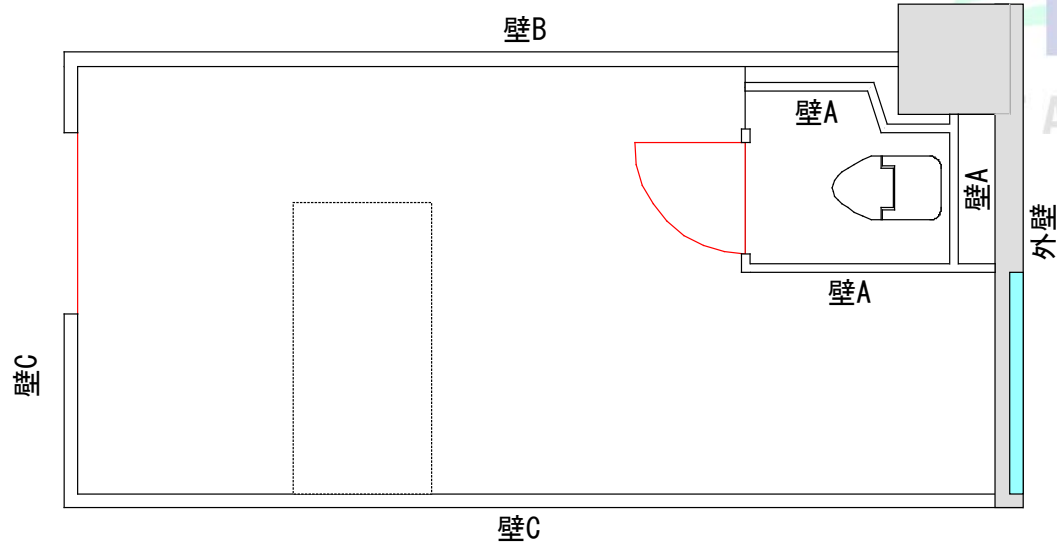
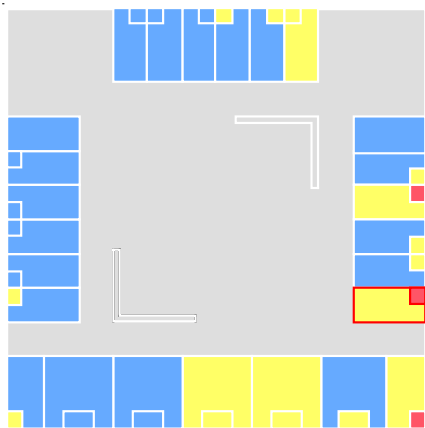
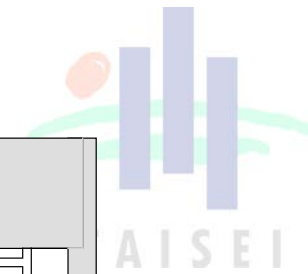
正常動作



異常動作

調査時のセントラルモニタの画面

病院の仕上げ・建具・配線



壁A：一般壁
壁B：遮音壁
壁C：耐火壁

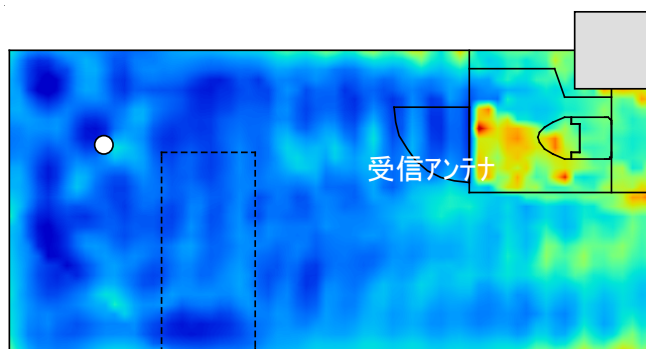
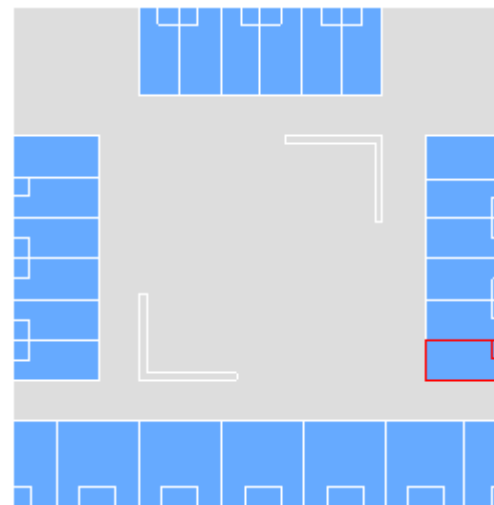
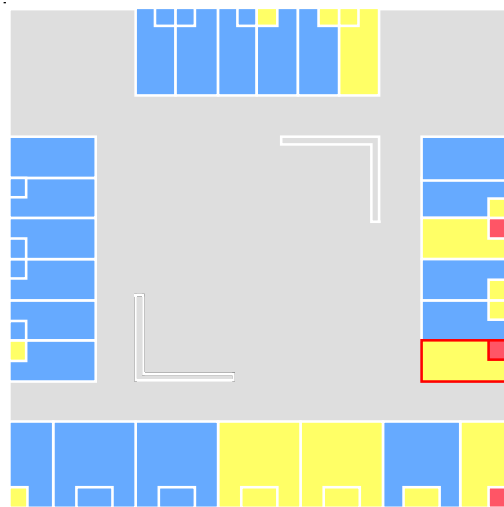


耐火壁（天井内）

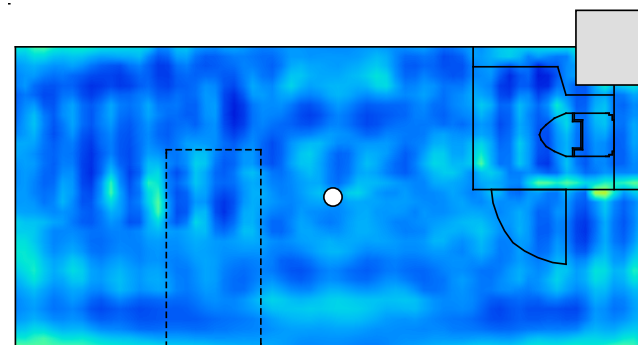
配線状況

個室（トイレ）

シミュレーションによる最適化



現状：トイレのなかの電波が弱い



受信アンテナとトイレの扉の位置を最適化

点検口の位置，壁の種類，配線計画など総合的に判断し最適な計画を立案

電波環境の改善に向けた取り組み



これから建てる病院

1.設計段階

- 数値シミュレーションなどにより電波つながる病院を設計

2.施工段階

- 関係事業者が情報共有し、アンテナ配置・配線・電気設備を最適配置
- 電波環境を調査し正常に動作することを確認

3.運用段階

- 定期的に電波環境を調査し動作状態を確認

運用中の病院

- 電波環境を調査し現状把握
- 電波がつかない要因を分析し、対策立案

これらの取組みを「いつ」、「どのような手法で」、「だれが行うか」を電波利用推進部会で協議し、日本建築学会環境工学規準を発行する予定